

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	えだは	公表日				令和7年 2月 12日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	・利用児童の人数によって活動環境の設定を行っている	・利用人数によって狭さを感じることもある ・ボール遊びをしている時は狭く感じることがある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		・配置数の基準は満たしているが、子どもの状態や人数によっては足りないと感じることがある（職員の休み等）
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・壁面などなくて良いと思う ・言葉で伝えることができるように遊具など手の届かない場所に設置している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎朝、清掃や玩具の消毒を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・常に個室が使えるようになっている ・支援目的に合わせ環境の設定をしている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・話し合いの時間があるので良い ・朝礼や空き時間に情報共有等を日々行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者からの意向を伝える時間を作っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・話し合いの時間があるので良い	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者による外部評価は現在行っていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・必ず月1～2回実施している	・外部研修の参加を積極的に取り組む
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・施設内にて掲示している ・リタリコ発達ナビにて掲載している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・半年ごとに個別支援計画を作成し、保護者に分かりやすく説明を行っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児童の様子について、話し合い共通理解をしている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・全職員で共有し、支援を行う	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・診断書や検査結果など保護者より情報提出して頂いている	・必要に応じて専門担当医との情報共有を行う
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・日々子どもの状況に全職員と共有を行い細やかや支援に努めている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・事前に現場職員間で計画を立てている ・児童発達支援計画書に沿った支援を行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・小集団活動の内容は日々工夫するように努めている	・日常生活動作等の土台づくり、社会性を育てることを大きな共通課題としている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別と小集団の活動を取入れている	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			・情報の共有をより強化するため、現在の情報提供方法の改善を検討する。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			・翌日の朝礼にて行っている ・日々支援記録の作成時、気付きなど共有するように努めている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			・日々の様子、支援内容を記録している ・成長や新たな課題について職員間で共有検討し支援内容の見直しに繋げている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			・前職員で話し合い実施している	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			・サービス担当者会議までに全職員で話し合い、情報共有・共通理解した上で児童発達支援管理責任者が参加	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・情報共有や連絡調整に努めている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			・必要に応じて適宜行っています	
関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			・必要に応じて適宜行っています	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		・機会を設けられるように検討する	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		・機会を設けられるように検討する	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			・送迎時や連絡帳にて情報共有をしている	
保護者へ	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・ご家庭の状況に合わせた保護者支援を行っています ・職員が行った子どもへの対応方法を保護者へ伝達し、家庭での困り事の対処へ繋げることができるように共有する	・研修に参加する等スキルアップに繋がるように努める
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			・契約時、または内容の変更時に説明を行っています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			・モニタリングを行う中で確認を行っています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			・個別に説明を行い、同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			・要望があれば適宜行っています	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○			・保護者の座談会など機会を設けられるように検討する

の 説 明 等	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・要望があれば適宜、個別相談または電話相談を行っています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・SNS等で活動の様子など発信を行っています	・発信頻度を多くできるように努める
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付書庫にて管理を行っています ・掲載時は個人名など配慮して対応しています	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・先入観や思い込みではなく、子どもの行動の前後の様子から思いを読み取り、利用児、保護者に合わせた伝え方ができるように努めています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			・機会を設けられるように検討する
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・敷地内での訓練は実施している ・契約時に説明を行っています	・全職員への周知に努める
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・定期的に訓練は実施している	・全職員への周知に努める
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・必要に応じて、医師（嘱託医）やかかり付け病院と児童のごとについて、相談している。また、主治医の情報提供書を頂いている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食事提供を行っていない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・定期的に研修、訓練を行っています	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時、または内容の変更時に説明を行っています	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・報告書の作成 ・事故ヒヤリが出た場合にはすぐに対応、分析するようにしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・定期的に研修を行っています ・入社後必ず研修を行っています	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・対象児童がいる場合は組織的に決定し、児童発達支援計画に記載を行う		